

いのちの言の葉2015

富山県教育委員会平成27年度いのちの教育総合支援事業

「正しく 生きる とは」(道徳)

立山町立釜ヶ淵小学校5・6年

平成27年6月30日実施

立山町立立山北部小学校(平成27年6月30日、同日)でも、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

佐伯 知彦先生

・山岳ガイド

【授業の概要】

- 1 立山連峰について
- 2 閻魔庁(浄瑠璃の鏡について)
- 3 八正道について
- 4 安全で楽しい登山について
- 5 登山のめあて

今日は正しい生き方について教えにきてくださり、ありがとうございました。立山の地獄や極楽浄土について勉強して、悪い生き方をしたらダメだと改めて感じました。「正見」「正思」など大切なきまりがたくさんあったので、守ろうと思いました。また、今日勉強した「立山登山」についての話も今まで知らなかったことがたくさんあったので、聞いてよかったです。今日学んだこと、佐伯先生に教えてもらったことを忘れずに立山登山をしたいです。



ぼくは佐伯さんの「いのちの授業」を受けて、いろいろなことを知りました。例えば136の地ごくがあるということなどです。ぼくは、立山では7月でも雪が残っているということを知ってびっくりしました。ぼくは、今後の行き次第で極楽か地ごくか決まるので、よい行きをして極楽へ行きたいと思いました。



「正しく生きるとは」をテーマにした佐伯さんの話を聞いて、私は人をきずつけないように、人の悪口を言わないようにしたいと思いました。そして友だちと助け合い、励まし合いながら、最後まで山に登りたいと思いました。ありがとうございました。

